

一般社団法人全国専門学校情報教育協会(研修委員会)
平成23年度 研修ニーズアンケート
教員・職員

●調査時期
平成23年6月6日～平成23年6月17日

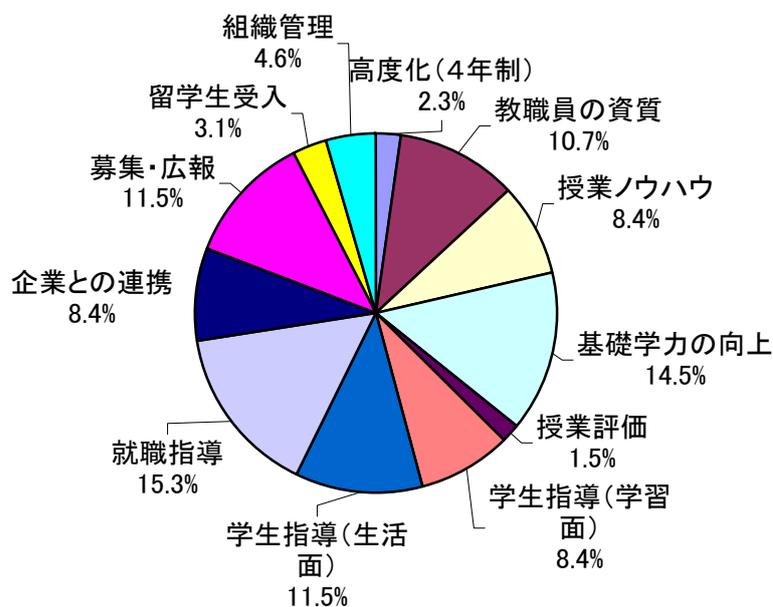
●発送数 89 件

●回答数 42 件

●回答率 47.2%

問2 担当されている業務の課題として緊急性の高いと感じているもの。

| S.No | 項目 | 回答 | % |
|------|-----------|-----|--------|
| 1 | 高度化(4年制) | 3 | 2.3% |
| 2 | 教職員の資質 | 14 | 10.7% |
| 3 | 授業ノウハウ | 11 | 8.4% |
| 4 | 基礎学力の向上 | 19 | 14.5% |
| 5 | 授業評価 | 2 | 1.5% |
| 6 | 学生指導(学習面) | 11 | 8.4% |
| 7 | 学生指導(生活面) | 15 | 11.5% |
| 8 | 就職指導 | 20 | 15.3% |
| 9 | 企業との連携 | 11 | 8.4% |
| 10 | 募集・広報 | 15 | 11.5% |
| 11 | 留学生受入 | 4 | 3.1% |
| 12 | 組織管理 | 6 | 4.6% |
| 合計 | | 131 | 100.0% |



問2-13 その他

| S.No | 項目 |
|------|--------------------------|
| 1 | 無料のクラウドサービスを活用したインフラ構築、対 |
| 2 | 時間割管理等の事務作業の効率化 |
| 3 | 高等課程は最低限の学習態度学ばせる必要がある |
| 4 | 危機管理 |
| 5 | 学生カウンセリング |

問3 問題や課題を解決するために、どのような研修・セミナーがあったら良いと思いますか？

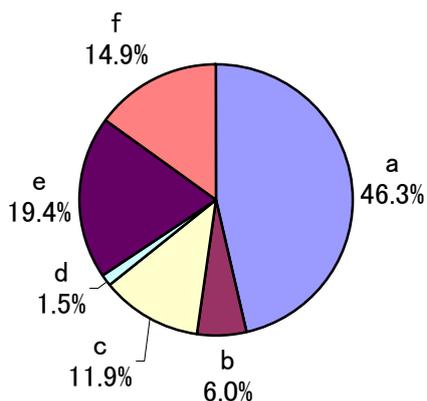
| S.No | 研修テーマ | 内容・形式・講師等 | 到達目標、レベル等 | 対象者 | 日数 | 実施時期 |
|------|---|---|--|-------------|-----------|-------|
| 1 | 教職員資質 ・組織活性化のための マネジメント | 目的 ・教員の意欲の向上 ・組織の活性化 ○教員が意欲を高めることの出来る「職場環境」及び「仕組み」をどう実現するのか | 新しい試みを試すことができる | 教員 | 2日 | 希望なし |
| 2 | 学生指導(生活面) ・働くことの意味を考えさせる | 目的 ・生活面の乱れを改善させる指導 ・「社会性」をアップするための指導 ○学生に社会性を身につけさせ、自信をもって社会へ巣立てるようにする | 入学者に対して、社会性を身につけるための指導ができる | 教員 | 1日 | 希望なし |
| 3 | その他 ・クラウドサービスの導入 | 目的 ・学生サービスの向上 ・学内インフラの向上 ○学校向けの無料クラウドサービスを活用して、学生サービス、学内インフラの向上を図る | 無料クラウドサービス導入の検討ができるようになる。 | 教員 事務 | 1日 | 希望なし |
| 4 | 就職指導について (就職先開拓・就職意識向上策等) | 業界の求人人材ニーズと学生の希望とのマッチングのため双方の情報収集とその活用方法の具体例 | 就職希望学生全員の就職決定 | 教員 進路指導教員 | 1日 | 希望なし |
| 5 | iPad等の端末機器 を活用して広報活動 を学ぶセミナー | | ガイダンスや広報活動の場にて情報端末機器を活用できる | | | |
| 6 | インターネット社会に おけるビジネスマ ナー | Windows7とのLAN等を実際に導入運営している学校の先生の範囲んでの質疑応答 | 自校での(LAN等)の運用、管理を円滑にする | IT関係教職員 | 1~2日 | 8月中 |
| 7 | 教授法やグループ ワーク指導法等を 身につけるための 知識習得型セミナー | 講義と実践を交えた形式 | 授業への実践へ移行出来るレベル | 教員(勤務年数問わず) | 2日 | 12月 |
| 8 | 授業ノウハウ | 講義、実習 | 中級 | 中堅教員 | 3日程度 | 8月 |
| 9 | 効率的な教務事務 方法 | 主に時間割や教室稼働、体講・補講の管理をしているので、その効率のより作業方法やお勧めのシステムがあれば教えて欲しい | 時間の効率化システム導入 | 事務教員 | 1,2日 | 5,6月 |
| 10 | 教授法やグループ ワーク指導法等を 身につけるための 知識習得型セミナー | | | | | |
| 11 | カリキュラム開発 | 最新技術等に対応するためには、カリキュラムの更新は必要不可欠である。最新技術に対応したカリキュラムをいかに作成するか | | | | |
| 12 | 効果的な授業法 | 教授法やグループワーク指導法等を身につけるための知識習得型セミナー | 1コマごとの学習指導要領が作れるレベル | 教員 | 2日 | 2・3月 |
| 13 | 採用担当者の本音 | 内容 ・大学全入時代において専門学校生の採用をどうとらえているか ・地方の学生の採用をどうとらえているか ・求められる人材像 ・筆記試験や面接結果と採用可否の実際 | 形式 ・分野を限定して数社の採用担当者による座談会 | | 1~2日 | 不問 |
| 14 | マインドマップの有 効活用術 | ・学生の能力アップ ・問題点の整理方法 ・システム開発の手法等 いろいろな場面で活用可能出来るのではないですか。ブザン教育協会 http://www.mindmap.or.jp/ | 自分の問題に対するマインドマップの活用が出来る。問題を整理できるようになる。 | 教職員 管理者 | 1日から3日間程度 | 夏休み期間 |
| 15 | 現状のマーケティング | 不登校者の現状を知りたい家庭環境 社会的に向いたマーケティング | 現在の不登校者の現状を知りたい | | | |

| | | | | | | |
|----|------------------------|---|---------------------------------------|-------------------|----------------|---------------|
| 16 | 発想が企画力を向上させる。授業ノウハウ | 自分が掲げた目的。目標に到達するために必要な現自をスケジュールの中に組み込み管理する方法の教え方について。 | | | 1日 | 8月 3月 |
| 17 | 学生の理解力向上 | IT技術は進んでいるが学生の基礎学力は低下している。授業として困難な面とあるためより分かりやすいレッスン方法を調いたい | | | | |
| 18 | 教職員の資質(研修と指導法) | 事例形法セミナー & 情報交換会 | 研修成果を持ち帰って実施出来るレベル | | 1日～2日 | 8月 |
| 19 | Android スマートフォン | 開発・実習形式 | 初級学生を教えられるレベル | 現場教員 | 1日 | |
| 20 | 問題解決形授業 | 学べる知識の習得の講義形ではなく問題発見から解決までの適性方法と実践的に学ぶ | 学生に教える事が可能なレベル | 中堅 | 2日 | 9月～11月 |
| 21 | 基礎学力の向上 | 事例 ・どのようなツールがあるのか ・どこまでやれば達成なのか | ノウハウ方法論の習得 | | 2日 | 7～8月 12～1月 |
| 22 | プロジェクトマネージャー & リーダーシップ | ワークショップ形や中間管理職対象に | 基本的なプロジェクトの理解 | ワークショップ形や中間管理職対象に | 1日 | 夏休み |
| 23 | 教育担当者指導力向上について | 教学のスキル向上 指導力向上につながる内容 | 短期間で高度な技術・スキルと取得 | | 2日 | 8月 |
| 24 | 教員の指導力向上のためのノウハウ(実践演習) | 新人～3年目までを対象として、授業・クラス運営等、魅力ある人を引き付けるためのノウハウ習得 | | 新人～3年目 | 2～3日 | 7,8月 |
| 25 | ものづくりに拘わる術 | 各方面の第一人者 | | | 1日 | |
| 26 | 就職知識の向上 | 就職レベルを高める指導対策任制の強化 | 完全自主的就職活動 | 学生 | 3日 | |
| 27 | 基礎学力の向上 | 専門学校へ本来業務ではない基礎学力向上に対していかに効率的に進めるか？ノウハウを知りたい。 | | 教員 | 1日 | |
| 28 | 部門間連携管理職研修 | 学生募集、教務教職の3部門が連携するためのノウハウや事例発表 | | 部門責任者 | 2日(フリーの情報交換含む) | 年末 8月 |
| 29 | カウンセリング | カウンセラーの基礎 | 学生カウンセリングの基礎習得する | 教員 | 1～2日 | 10～12月 |
| 30 | 就職 | 動機付けについて | | | | |
| 31 | Android携帯アプリ開発(携帯機種対応) | 教育研修 講義形式 講師:各メーカー開発担当者 | 機種ごとの開発注意点の理解 | 教員 | 3日 | 8月 |
| 32 | 就職指導 | ・情報交換 ・指導法 | | | | |
| 33 | 募集・広報 | 小規模の学校が学生を求めるための方向性やノウハウに関わる事実際にやっている具体的な工夫などを聞きたい | | | 1日 | |
| 34 | クラウドコンピューティングへの取り組み | 現状と今後の動向。専門学校としてどの技術的側面に取り組めるか | 学内でクラウドアプリが活用されることを推進できる。部分的に研究に取り組める | IT系教員 | 1日 | 11～12月 |
| 35 | 募集・広報 | 大学全入となり学生募集に苦しんでいる専門学校が多い中で人気良く学生を集めている学校学科の紹介と取り組みなど教育願いたい | 事例紹介 | 広報担当 | 1 | 夏休み8月 |

| | | | | | | |
|----|----------------------------------|---|--------------------------------------|-------------|----|-------|
| 36 | 教職員の資質 ・行動特性の改善 | 目的 ・教員の意欲の向上 ・魅力的な職業人の育成 ○仕事にたいして積極的に関わられる組織を率引出来る教員を育成する | 仕事に対する意識改革 | 教員 | 2日 | 希望なし |
| 37 | 就職指導 ・働くことの意味を考えさせる | 目的 ・働く事の意味を考えさせる指導 ・就職活動への動機づけ指導 ○学生さんに、「働くわけ」を見つけてもらう指導ができる 講師:福島 正伸 氏 | 学生に働く事を考えさせるきっかけを提供できる | 就職、教員、 | 1日 | 希望なし |
| 38 | その他 クレーム対策を考える | 目的 ・クレームの対応 ・モンスターペアレントの対応 ○クレーム対応を誤ったためのトラブルを未然に防ぐために出来る事を学ぶ | 個人の対応、組織の対応を検討出来る | 役職 事務 教員 | 1日 | 希望なし |
| 39 | 学生指導上のメンタルヘルスに関する知識習得 | 専門家による指導方法・学生指導上の注意等について事例を交え学ぶ(対発達障害者等) | 学生・保護者とのスムーズな対応 | 教員生活指導職員 | 1日 | 希望なし |
| 40 | 専門技術の向上を目的としたセミナー | 講義や実習等 | | 専門職員 | | |
| 41 | 基礎学力の向上 学生指導(学習面) ・基礎学力の向上 | 目的 ・学生の基礎学力の向上 ・就職活動の筆記試験突破力の向上 ○効果的に基礎学力を向上させる為の手法及び教材について | 具体的な策を実施できる | 教員 教職 | 2日 | 希望 なし |
| 42 | 就職指導 就活で合格するための指導を考える | 目的 ・効果的な資料作成のポイント ・効果的な面接のポイント ○学生さんが就活を突破するためのノウハウを学ぶ | より良い就活ができるように指導できる | 就職 教員 | 2日 | 希望 なし |
| 43 | 留学生の対応法 | 留学生トラブルにおける適切な対応法を学ぶ | 留学生トラブルの事前回避 | 教員留学生担当職員 | 1日 | 希望 なし |
| 44 | 心の問題を抱えた生徒への対応や事例等を学ぶ | 講義やディスカッション | 学生指導において心のケアやかかわり方を知る | | | |
| 45 | 施設管理運営の低コスト化 | 今からできるコスト対策 | | 施設管理 | 1日 | 夏7~8月 |
| 46 | 学生指導(生活向)と基礎学力の向上 | 生きる に欠ける学生が目立つと感じている。また 国語の基礎学力が身に付いている者も増えており大学・専門学校の取り組み事例を紹介頂きたい | 学生資質とカウンセリングの講演 すでに取り組んでいる学校の事例紹介 | 学科長クラス | 1日 | 夏休み |
| 47 | 学生指導(学習面) ・効果を上げる学習指導 | 目的 ・レベルの異なる学生の指導 ・吹きこぼれ、落ちこぼれを出さない ○それぞれの学生に合わせた効果的な学習指導方法を身につける | 学生指導に導入して、指導の質を向上できる | 教員 役職 | 2日 | 希望なし |
| 48 | 企業との連携 学校と企業の連携を考える | 目的 ・社会性のある学生を育てる ・うまくいく企業連携とは ○様々な学校と企業の連携の事例を学び、そのポイントを学ぶ。 | 企業連携を進めるためのヒントを得られる。 | 役職 教員 | 1日 | 希望なし |

問4 実施時期・日数などについて当てはまるもの全てに○を付け、ご意見等

| S.No | 項目 | | 回答 | % |
|------|---------------------------|---|----|--------|
| 1 | 夏休み期間中が良い | a | 31 | 46.3% |
| 2 | 学期中でも金曜又は月曜と土・日の組合わせ可 | b | 4 | 6.0% |
| 3 | 土・日なら可能 | c | 8 | 11.9% |
| 4 | 土・日は不可 | d | 1 | 1.5% |
| 5 | 告知期間が長ければ調整可能 | e | 13 | 19.4% |
| 6 | 新技術紹介など講演形式で半日程度のセミナーなら可能 | f | 10 | 14.9% |
| 合計 | | | 67 | 100.0% |

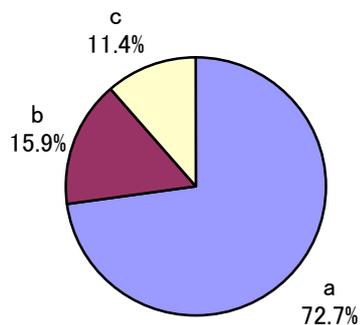


問4 その他

| S.No | 項目 |
|------|--|
| 1 | ケースバイケースと考えます。セミナーの内容、対象者によって可能な研修期間は異なる。いつでもその状況にある訳では有りませんが、時期によっては「土・日に参加」は可にも。 |
| 2 | (広島→東京)出張が難しく、地方で会議・セミナーを開催頂けると助かります。 |

日程について

| S.No | 項目 | | 回答 | % |
|------|--------------|---|----|--------|
| 1 | 現状で良い | a | 32 | 72.7% |
| 2 | 初日は午前中からでも良い | b | 7 | 15.9% |
| 3 | 終了時間は遅めでも良い | c | 5 | 11.4% |
| 合計 | | | 44 | 100.0% |



その他

| S.No | 項目 |
|------|-----------|
| 1 | 大阪での開催を希望 |

問5 視察してみたい場所(国内外)、内容の概略、適当と思われる期間(日数)を教えてください。

| S.No | 視察地 | 視察内容 | 何月頃 | 期間 |
|------|--------------|---------------------------------------|---|--------|
| 1 | 不明 | 教育＝学生を鍛える」ということを実施している学校の、システムと設備を見学。 | 場所によりますが、宿泊の場合には早めにアナウンスを頂き参加を調整できる日程で。 | |
| 2 | フィンランドもしくは北欧 | 現場でのIT関連の導入状況 | 8～11月 | 3～7日程度 |
| 3 | 当校と同じ規模の専門学校 | 教務事務一般 | 5、6月 | 1、2日 |
| 4 | 韓国 | デザイン教育施設 | 3月 | 2日 |
| 5 | モード学園コクーンタワー | 不思議な形のビルなので中が見てみたい | | 1日 |
| 6 | 金沢工業大学 | 実践教育の見学 | 6月 | 1日 |
| 7 | 資格取得 | PBL等で実験残っているをしている学校 | | |
| 8 | 九州地区 | 高・大連携の成功例を基に、専・大連携して就職率を上げる等 | 8月 | 2日 |
| 9 | 石川県金沢卯辰山工芸工房 | 授業方法について | 12月 | 1日 |
| 10 | 日本工学院専門学校 | 授業等を見学し学生の様子や先生と学生との関わり方を学ぶ | 8月 | 1日 |
| 11 | 日本電子専門学校 | 授業等を見学し学生の様子や先生と学生との関わり方を学ぶ | 8月 | 1日 |

問6 現在困っていることや、抱えている問題・課題等がございましたらお書きください。

| S.No | 問題・課題等 |
|------|--|
| 1 | 教員をスキルアップさせるために、どんなキャリアパスを用意するのが良いのか。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ①全ての学生の希望に応えるべく進路先の確保が難しい状況である。企業側から提示される条件に合わないケースも多い。(大学卒業生以上を条件としている等) ②留学生の就職にも苦戦している。その他の制限により妨げられることもある。 ③東日本大震災被災者に対する支援について次年度以降の計画がたてられない。特に学費減免措置等の対応に関しては、条件(対象地域、程度判断等)による基準を単校のみではなく社会情勢や政府対応および補助金制度に合わせる必要性があるため現段階では設定する事ができない。よって、専門学校での対応例また基準の調査結果を知ることの方針の目安が立てられると考えている |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・レベル差のあるクラスでの授業展開 ・不登校の学生が入学してきた場合の対応について |
| 4 | 心の問題等で保健室登校の学校に対して、してはならない行為や対応すべき事項を具体的に知りたい |
| 5 | 時間割作成時の手順の多さ |
| 6 | 授業の質の向上策と授業評価のあり方。 |
| 7 | 多様な学生、学習履歴や生活習慣、心の問題等を学習に向かわせる指導法。 |
| 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏への就職に対して学生の腰が重い(経済的問題、首都圏への不安感等) ・業界(ゲーム)とのパイプ不足 ・心の問題を抱えた学生に関する高校側の情報公開不足(大学させるために秘匿する傾向がある) |
| 9 | 上記の例にある「心の問題を抱えた学生に対し、日常、教職員が心かけるべき具体的な事項。」が現在一番の課題になっているのではないのでしょうか。また、最近多くなっているのが「家庭の経済状況の悪化」で授業料未納で困っている等の条件が年々増えています。(奨学金制度の取り組みなどいい事例があれば参考になると思います) |
| 10 | 義務教育で受けてきていない生徒に対して行う教育は何を理想とするべきなのか？ |
| 11 | 学生募集に関する、市場調査や営業戦略ノウハウの確立。 |
| 12 | <ul style="list-style-type: none"> ・学生のレベル差が大きくなっている ・この問題は者からあったが、クラスが小人数になってきておりグループ分けが難しくなっている。 |
| 13 | 教育ノウハウと授業評価のあり方について |
| 14 | <ul style="list-style-type: none"> ・クラス運営(3者面談で、学生+親を惹きつける方策)つかず離れずのバランスが難しい ・授業のマンネリ化(夏休みを前にして、学生のやる気がない) ・就職活動による学習意欲の無さ |
| 15 | 保護者や学生からのクレームの対応 |
| 16 | ご年配の方への指導方法が難しいと感じます。 |
| 17 | 心の問題抱えた学生に対し、日常、教職員が心かけるべき具体的な事項。 |
| 18 | <ul style="list-style-type: none"> ・学生募集の営業の工夫 ・学生の学室意欲の向上 ・学生どうしのコミュニケーションのとらせ方 |
| 19 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の低下と日常業務の中でのケア・サポートの難しさ。 ・授業評価の推進・中々困ることが出来ない。 ・精神的に弱い学生・心の病を持つ学生のケア・サポートの難しさ |
| 20 | <ul style="list-style-type: none"> ・心の問題を抱えた学生に対する教職員が心がけるべき事項などのセミナー ・また今後の専門学校が取り組むべき方向性など。マクロ的な講演希望します。 |